

1. 営業・輸送概況
2. 「JR 西日本グループ鉄道安全考動計画 2027」の進捗と課題について
3. 大阪・関西万博終了後の取組みについて
4. 当社デザインの受賞について

詳細

1. 営業・輸送概況

【運輸取扱収入（速報値）】

収入につきましては、9月は前年比で106.5%、10月は13日までで109.5%です。

運輸取扱収入（速報値）

	前年同环比			
	収入計	近距離券	中長距離券	定期券
9月	106.5%	110.1%	106.9%	102.5%
10月（10/1～13）	109.5%	116.7%	111.7%	101.3%

※実績は直営の速報値。駅などでの取扱高(消費税を含む)を示すものであり、旅行会社での発売分などを除きます。

【新幹線・在来線特急・近畿圏のご利用状況（速報値）】

次に、ご利用状況ですが、山陽新幹線は、9月が前年比で109%、10月が13日までで117%、近畿圏は、9月が109%、10月が13日までで113%となっております。

新幹線・在来線特急・近畿圏のご利用状況（速報値）

	前年同环比				
	山陽新幹線	北陸新幹線	在来線特急	近畿圏	
				近距離券発売枚数	自動改札通過人員
9月	109%	100%	105%	109%	107%
10月（10/1～13）	117%	109%	114%	113%	103%

※実績は速報値。近畿圏は近距離券発売実績と自動改札通過人員の前年同环比を併記しています。

13日に大阪・関西万博が閉幕いたしました。開催期間中には、関西エリアに多くの方々がお越しになりました。この間、当社といたしましては、お客様に安心してご利用いただける輸送体制の確保に努めてま

いりました。本日は、開催期間中 184 日間（4 月 13 日～10 月 13 日）の輸送状況などの速報をお伝えいたします。

大阪・関西万博の開催期間中は、大きな輸送障害もほとんどなく、無事にご来場者の輸送を担うことができました。ご利用実績としましては、山陽新幹線が対前年 110%、大阪を発着いたします在来線の特急を合わせたご利用が対前年 111%と、ともに前年を大きく上回っております。また、近畿圏の近距離券発売枚数も対前年 108%に増加いたしました。また、シャトルバスが発着いたします桜島駅のご利用は対前年 212%、一日平均約 1.3 万人のご利用がございました。そして、大阪メトロ中央線との乗り換え駅であります弁天町駅は対前年 233%、一日平均 3.2 万人のご利用がございました。

また、大阪・関西万博への訪問をきっかけに、西日本各地への周遊をプラスしてお客様にお楽しみいただく『プラスワントリップ』の取り組みの効果もあり、万博への来場をきっかけに、私どもの試算では、約 80 万人のお客様に西日本の各地へ足を延ばしていただきました。

一方、万博会場内では、当社グループのオフィシャルストアを出店いたしております。万博の公式ロゴやキャラクターを活用したライセンス商品に加えまして、西日本の企業や地域と連携した商品などを取り揃え、多くのお客様にお越しいただき、ご購入いただいております。感謝申し上げます。

最終日には、「Thank you for all...」と題しまして、ファイナルイベントも開催させていただきました。合わせて 1 万 1 千人以上の方にご来場いただきました。この間に万博を盛り上げていただきましたスタッフの皆様、そしてご来場者の皆様に感謝の気持ちをお伝えすることができました。ご利用いただいたお客様、そしてこの間ご協力いただいたすべての皆様に、改めて感謝申し上げます。

私どもとしましては、万博の期間中に培いました様々なレガシーを一過性のものとせず、今後も安全安定輸送に努め、地域の皆様とともに西日本エリアの活性化に取り組んでまいりたいと考えております。

2. 「鉄道安全考動計画 2027」の進捗と課題について

続きまして、「鉄道安全考動計画 2027」の進捗状況についてご報告いたします。

「JR西日本グループ鉄道安全考動計画2027」の進捗と課題について

JR西日本グループ

「JR西日本グループ鉄道安全考動計画2027」：2023年度から5年間の安全性向上の具体的計画

2027年度までの5年間を通じた目標	2024年度末実績
お客様が死傷する列車事故 死亡に至る鉄道労災 ・・・発生させない ・・・発生させない	発生なし 累計 2 件（2024年度発生なし）
2027年度の到達目標	2024年度末実績
・ハード整備 【ホーム安全】 バリアフリー料金制度対象駅のうち、 ① 乗降 10 万人以上の駅にホーム柵を整備 ② 乗降 10 万人未満の駅にはホーム柵またはホーム安全スクリーンを整備	① 整備率 48% ② 整備率 21%
【踏切安全】 対象踏切に対して、大型車が踏切に停滞していることを列車の運転士に音声で知らせる装置の整備 ① 「無線発報」装置を整備している踏切 ② 「画像認識」装置を整備している車両	① 整備率 76% ② 整備率 7%
【地震対策】 山陽新幹線における地震対策 ① 構造物の倒壊を防止する対策（橋脚の補強） ② 大きな軌道沈下を防止する対策（ラーメン橋台の補強） ③ 列車が大きく逸脱することを防止する対策（優先度が高い区間に対する逸脱防止ガードの整備）	① 整備率 92% ② 整備率 54% ③ 整備率 78%
・めざす状態 「安全最優先の風土」の醸成、「組織全体で安全を確保する仕組み」の構築、「一人ひとりの安全考動」の実践がなされている状態	「現場の判断を最優先するマネジメント」、「お客様を想い、ご期待にお応えする」、「心理的に安全なチーム」づくり、「現場起点の考動」[大切にしたい5つの価値観]を意識した考動等の推進

2027年度までの5年間を通じた目標

2023年度に「死亡に至る鉄道労災」を2件発生

これを重く受け止め、実態把握に基づいた安全対策を着実に実行

以降、「お客様が死傷する列車事故」「死亡に至る鉄道労災」は発生なし

感電事故を防ぐための停電を確認する装置
列車からの視認性が高いLED方式の停止表示標

主な取り組み状況

【ハード面】
・駅ホームや踏切、地震対策等を重点実施

【ソフト面】
・実践的な訓練の積み重ね
・リスクアセスメントの質の向上
・心理的に安全なチームづくり

課題を踏まえた取り組み強化

【主な課題】
非常時における心理的安全性の確保

【強化・継続する取り組み】
・部外講師による役員向け研修を繰り返し実施
・事故発生時等に設置される対策本部のメンバーに特化した研修、訓練を実施

本計画は2023年度からスタートし、2025年10月にちょうど2年半ということで折り返し地点を迎えました。

本計画におきましては、2024年度は着実に進捗をいたしておりますが、2023年度に発生させました「死亡に至る鉄道労災」を受け、ルールへの遵守や現場作業の実態把握に基づいた安全対策を着実に実行してまいりました。今後もこのような事象の未然防止に向けまして、安全対策の徹底と継続的な改善に取り組んでまいります。

ハード面につきましては、駅のホームや踏切の安全対策とともに、地震対策などを重点的に進めましたほか、昨今激甚化しております自然災害への対応など、各種施策を進めております。

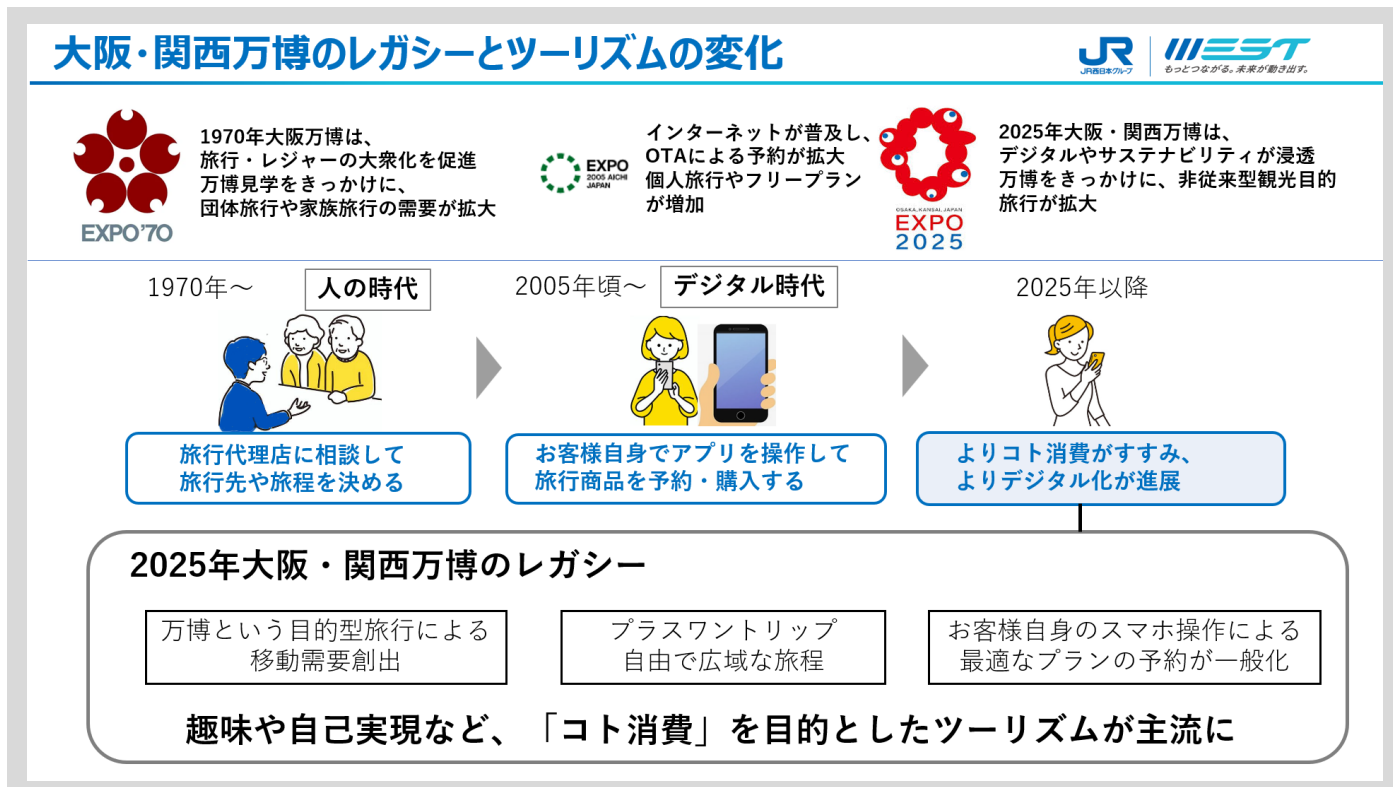
一方、ソフト面では課題もございます。2023年度からの安全考動計画では、心理的に安全なチームをしっかりと作っていくということに取り組んでまいりました。特に、事故や災害発生時など迅速な意思決定が求められる非定常時において、互いを認め合い、率直に発言し合えるチームづくりに現在取り組んでおります。6月に公表しました、第三者評価報告書でも「改善が望ましい項目」として挙げられておりまして、引き続き、コミュニケーションの改善を重要な課題と捉え、取り組んでまいります。

具体的には、部外講師による役員向け研修を繰り返し実施するほか、事故・災害等の発生時に設置される対策本部メンバーに特化した研修と訓練を実施するなどの取り組みを重ねてまいります。

これらの取り組み効果を把握するために、社員意識アンケートを定期的の実施し、心理的安全性に関する項目などを定量的に測定いたしております。結果につきましては上昇傾向にあり、取り組みの方向性は妥当であると自己評価いたしておりますが、一方で粘り強く取り組んでいくことが重要であると考えております。私どもは福知山線列車事故のような重大な事故を決して発生させない、という強い決意をもとに、安全性の向上は経営の最重要課題であると強く認識し、取り組みを継続いたしまして、インフラ企業として「お客様から安心・信頼してご利用いただける鉄道」の構築に向け、不断の努力を重ねてまいります。

3. 大阪・関西万博終了後の取組みについて

次に、大阪・関西万博終了後の観光の取組みについてご紹介いたします。



旅行のスタイルは、これまでも時代背景や技術の進歩とともに変化を続けてまいりました。

1970 年に開催されました大阪万博では、旅行という経験が大衆的なものになり、団体旅行や家族旅行の需要が一気に拡大したと言われております。

愛知万博が開催されました 2005 年頃には、デジタル技術の進歩により、個人で旅行商品を予約・購入するスタイルが一般的になってまいりました。

そして今回の大阪・関西万博では、旅行商品にとどまらず、入場の予約やパビリオンの予約、会場内でのキャッシュレス決済に至るまで、すべてがデジタルで完結いたしております。

このようなデジタル化の進展により、情報収集から予約、体験までがより手軽に行えるようになり、旅行者の方お一人おひとりの趣味嗜好を反映した旅のスタイル、いわゆる「コト消費」を目的としたツーリズムが主流となる時代が訪れています。

人の心を動かすコンテンツのご提案



これまでは、

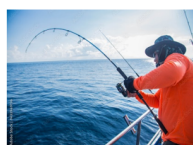
みんなが行っている観光地に行くことが旅行

これからは、

自分のやりたいことをやる（内発的動機・情緒を満たす）ことが旅



エンタメ



趣味



祭り

行先から旅行を計画するのではなく、「自分の体験したいこと」を実現することが**結果として、旅になる。**

テクノロジーの進歩により、スマホやオンラインの世界の中で、充足感を得られる時代において
どうすれば人の心を動かし、移動を創出できるのか？

**当社として、多様な趣味嗜好をもつ人々の心を動かすため、
情緒に訴えかけるコンテンツラインナップを充実し、
お客様にご提案することで旅の可能性を広げることが重要**

従来は、「人気の観光地に行くこと」が主な旅行の目的となっておりましたが、これからは、「自分のやりたいこと」、「体験したいこと」が結果として旅になる、そうした新しい旅行の形がますます広がっていくと考えています。

私たちは、お客様お一人おひとりの「やりたい」「行きたい」「体験したい」という情緒に訴えかける、魅力的なコンテンツを提案することで、旅の可能性を広げてまいりたいと考えております。

このようなコンテンツづくりの具体的な取り組みをご紹介します。

ぴあ株式会社との事業連携



(目的)

ぴあ株式会社（以下ぴあ）が保有するエンタテインメントコンテンツと、JR西日本グループが提供する鉄道をはじめとする様々なサービスを組み合わせた新たな価値の提供により、西日本地域におけるエンタテインメント産業の発展を通じた人々の活動量増加、及び豊かな暮らしの実現

(事業連携によりお客様に提供できる価値)

- ・tabiwa先行予約等、専用の在庫枠をぴあから提供していただき、tabiwaで販売
- ・ぴあで取扱われているエンタメチケットを、システムの連携によりtabiwaで販売
- ・**西日本エリアに新たな興行を誘致し、より多様な趣味嗜好に刺さるコンテンツを提案**

- ・「人々の活動量の増加」を通じた、西日本地域の活性化
- ・人々の豊かな暮らしの実現
- ・持続可能な社会システムの構築

エンタテインメント

社会的価値

経済的価値

- ・鉄道利用客増を通じた鉄道の収益拡大
- ・移動に伴う関連事業利用によるグループ収益拡大

一つ目といたしましては、エンタテインメントをきっかけに、「コト消費を通じた地域の交流創出」を実現するために、エンタテインメントチケットを取り扱っているぴあ株式会社様と協業をいたします。両社の能力を相互に提供し合い、西日本エリアで興行していなかったエンタテインメントを新たに誘致いたします。

次に、具体的な商品や企画をご紹介します。

ラインナップするコンテンツの例



日伊国交160周年記念 大阪・関西万博開催記念 特別展「天空のアトラス イタリア館の至宝」

2026年に日本とイタリアの国交160年を迎えることを祝い、大阪・関西万博で人気を博したイタリア館で展示された「ファルネーゼのアトラス」、レオナルド・ダ・ヴィンチの「アトランティコ手稿」、ペルジーノの「正義の旗」の3件を厳選し大阪市立美術館で公開されます。

tabiwaでは特別展チケットの取扱いのほか、貸し切りイベントも予定しています。

【会期】2025年10月25日
～2026年1月12日

【会場】大阪市立美術館

【展示作品】

- ◆《ファルネーゼのアトラス》
- ◆レオナルド・ダ・ヴィンチ「アトランティコ手稿」
《水を汲み上げ、ネジを切る装置》、
《巻き上げ機と油圧ポンプ》
- ◆ペルジーノ《正義の旗》

【主催】大阪市立美術館、朝日新聞社

貸切
美術館
旅



《ファルネーゼのアトラス》
2世紀 ナポリ国立考古学博物館蔵

地域の人気スポット「いまきん食堂のあか牛丼」

熊本県阿蘇「いまきん食堂」は、大衆食堂として阿蘇内牧温泉に創業して百年余りの名店で、平日でも行列ができる超人気店です。



全国各地から、レアに焼いた旨みたっぷりの「あか牛」がどんぶりいっぱい広がる「あか牛丼」を求めて人々が訪れます。

通常約1時間前後お待ちいただくところ、tabiwaチケットなら、指定時間に「あか牛丼」をお楽しみいただけます。



2026年に日伊国交160年を迎えることを祝い、大阪・関西万博のイタリア館で展示されました「ファルネーゼのアトラス」など、厳選された3件が大阪市立美術館で公開される予定でございます。この特別展

のチケットを、私どもの旅行関連サービスのアプリである tabiwa で取扱うほか、tabiwa 限定の貸切イベントも予定いたしております。

また、熊本県の阿蘇内牧（あそうちのまき）にあります、ご当地グルメ「あか牛丼」で人気のいまきん食堂様に、指定時間に並ばずに食べられる tabiwa チケットを発売しています。平日でも行列ができるお店ですので、旅行での時間を有効に使うことができるかと思います。ぜひ、「食」を目的とした旅にお出かけいただければと思います。

USJ・関西民鉄との事業連携



3社が連携し、地域経済と観光の好循環を生み出す



マーケティング・パートナーの3社が持つ強みを融合させ、地域と観光客をつなぐ「体験価値」の創出へパーク内を思い切り楽しめる特典を組み込んだ、
これまでにない、特別な旅行商品を10月16日から販売開始！

【商品名】JRで行く！ユニバーサル・スタジオ・ジャパンへの旅
in ホリデーシーズン ～煌めく冬のクリスマス～

往復JR+宿泊、下記の特典がセット！

- ① 1.5デイ・スタジオ・パス
- ② 「スーパー・ニンテンドー・ワールド™」エリア入場確約券 & JTB ユニバーサル・エクスプレス・パス1
- ③ パーク内レストラン優先案内
- ④ 『ライト・アップ・ザ・ナイト～クリスマス・セレブレーション～』特別鑑賞エリア入場券

JR西日本は、ユニバーサル・スタジオ・ジャパンのオフィシャル・トレインです。
TM & © 2025 Universal Studios. All rights reserved. CR25-4040

関西鉄道事業者連携によるQRパスを発売
「ONE KANSAI」との思いのもと
利便性を高めて周遊を促し関西エリアの地域活性化に繋げる

ONE KANSAI



KANSAI Maas

京都～大阪エリア、大阪～奈良～京都エリア、大阪～和歌山エリア、
大阪市内エリアで周遊に便利なQ Rパスを設定。

各鉄道事業者がそれぞれのエリアで連携することで、
魅力的な関西エリアを巡るための利便性がより高まったQ Rパスです。

関西鉄道事業者が連携し、関西を盛り上げていきます。



そのほか、USJ 様や JTB 様と連携した特別な旅行商品を、明日 10 月 16 日から販売を開始します。さらに、関西の鉄道事業者と連携し、関西エリアをシームレスに移動いただける『ONE KANSAI』QR 乗車券を 11 月から発売いたします。

多くの協創パートナーとともに創る旅の目的



宝塚大劇場



※2025年10月15日時点での主な連携パートナーです。今後、協業を拡大予定です。

こうした取り組みは、現在、約 70 社の企業及び団体様と連携を進めております。今後さらに拡大してまいりたいと考えてます。

「動け、好奇心。」キャンペーン



旅はもう、行き先さがしからはじめなくていい。
自分で見つけた、好きなこと。
誰かに聞いた、おもしろそうなこと。
思わず好奇心が動くほうへ、
自分を連れ出す旅をしよう。
私たちはこれから、
あらゆるコンテンツホルダーと一緒に、
そのきっかけを、もっともつにつくってゆく。
どれほど新しい旅が生まれるのだろう。
ゆこう。やってみたいほうへ。
出会おう。見たことのない自分に。
動け、動け、日本中の好奇心たち。
鉄道はもう、走っている。

動け、好奇心。



私たちは、多くのパートナーの方々と一緒に、魅力的なコンテンツを豊富にラインナップし、「思わず好奇心が動くほうへ、自分を連れ出す」、そんな旅をしようという機運を醸成するキャンペーンを行います。「動け、好奇心。」をキーワードに、旅への一歩を後押しするプロモーションを展開してまいります。

多くの人々が好奇心のまま旅に出かけることで、大盛況でありました、大阪・関西万博終了後も西日本の活気を絶やさぬよう、様々なパートナーの皆様と「JR 西日本グループ」との連携を通じまして、交流人口の拡大を図り、地域経済の発展に寄与してまいりたいと思います。

4. 当社デザインの受賞について

最後に、当社の鉄道車両やサービスに関するデザインが様々な賞を受賞しておりますのでご紹介させていただきます。

当社デザインの受賞について



2025年度グッドデザイン賞 GOOD DESIGN AWARD 2025 10月15日受賞

特急「まほろば」



【運転開始日】

安寧：2025年4月5日
悠久：2025年10月18日

【運行区間】

大阪-奈良間

【デザイン監修】

GK デザイン総研広島

観光列車「はなあかり」



【運転開始日】

2024年10月5日

【運行区間】

時期により異なる地域を走行
現在：敦賀-城崎温泉間

【デザイン監修】

イチバンセン 川西氏

2025年ブルーリボン賞



5/22
受賞



新型特急「やくも」

【運転開始日】2024年4月6日

【運行区間】岡山-出雲市間

【デザイン監修】イチバンセン 川西氏

第13回ブルネル賞



9/24
受賞



WEST EXPRESS 銀河

【運転開始日】2020年9月11日

【運行区間】時期により異なる地域を走行
現在：京都-新宮間

【デザイン監修】イチバンセン 川西氏



TWILIGHT EXPRESS 瑞風

©Takashi Karaki

【運転開始日】2017年6月17日

【運行区間】時期により異なる地域を走行
現在：京都-下関間

【デザイン監修】浦 一也氏、福田 哲夫氏

本日、当社が運行する特急「まほろば」と観光列車「はなあかり」が2025年度グッドデザイン賞を受賞いたしました。

特急「まほろば」は、「奈良」の魅力を強く発信する、そのデザインを高くご評価いただきました。一方、観光列車「はなあかり」は、地域文化を体感できる新たな空間デザインに高い評価をいただきました。

これ以外にも、新型特急「やくも」が2025年ブルーリボン賞を受賞し、長距離列車「WEST EXPRESS 銀河」と寝台特急「TWILIGHT EXPRESS 瑞風」が2025年ブルネル賞の優秀賞と奨励賞を先日ロンドンで受賞しております。

「Brand Impact Award」銀賞



- ・イギリスの国際ブランド賞『Brand Impact Awards』において銀賞を受賞
 - ・「決済アプリから「移動・喜び・発見」の手段へと戦略を転換した点が非常に優れている」という主催団体コメント
 - ・Wesmo!におけるブランド戦略の取り組みが海外において高い評価
- ※2025年は日本勢として唯一の受賞

■受賞内容

- ・賞名：Brand Impact Awards 2025 Silver Awards/Brand Strategy
- ・受賞日：10月4日
- ・作品名：Wesmo!
- ・クライアント：西日本旅客鉄道株式会社
- ・プロダクション：株式会社セイタロウデザイン

■「Wesmo!」

- ・25年5月サービス開始
- ・ICOCA、J-WESTカードに次ぐJR西日本の決済サービス
- ・ブランド戦略の設計・開発からプロモーション部分までを株式会社セイタロウデザインと協業



■「Wesmo!」のブランド戦略

- ・ブランドコンセプト「Moving is Value.」
- ・ロゴはWESTの「W」を擬人化
- ・決済時などにアニメーション使用
- ・オリジナルフォント「WESTERX Sans」
- ・目指す世界観を描いたFuture Visionムービー など



また、今年5月にサービスインいたしましたコード決済サービス「Wesmo!」のブランドデザインが、イギリスの「ブランドインパクトアワーズ 2025」銀賞を受賞することになりました。これは日本では唯一私どもが受賞したということでございます。

これらのデザインは、お客様と地域をつなぎ、地域の発展に寄与できればとの私どもの思いを込めたものでございます。今回、各賞でこうした私どもの思いを評価いただき、大変光栄に思っております。改めて関係者の皆様に心より御礼申し上げます。私からは以上です。